

テーマ:オペラ作品に触れよう!

あっという間に桜の季節も終わり5月ですね。休校が延長されたので、前回に引き続き第2弾の課題のお知らせをします。

1. G.プッチーニの有名なオペラの一つである、オペラ「トゥーランドット」の劇中で歌われる《Nessun dorma 誰も寝てはならぬ》の演奏を鑑賞しましょう。

- ① インターネット上(CDも可)の演奏音源から演奏を2つ選び、聴き比べをする。
- ② 2つを聴き比べての感想を述べる。
- ③ 自分の好きな演奏音源を選び、どの部分が良いと思ったのか。また、聴き比べたときの着目点などを添付しているワークシートまたは家にあるノートやルーズリーフなどの用紙にまとめましょう。その際、演奏者の情報なども記入すること。

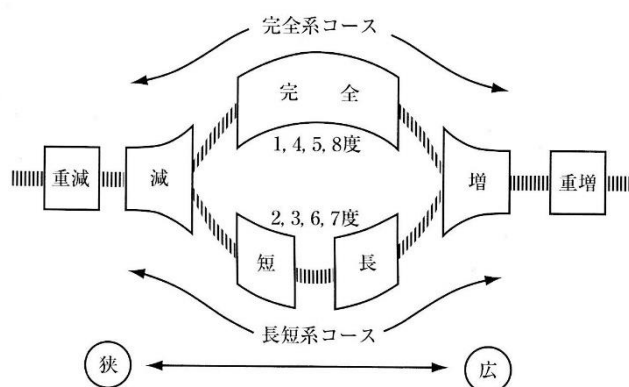
*インターネット上で音源が視聴できない場合は教科書100ページを参考にしながら、「トゥーランドット」のあらすじについて自分なりにまとめてみましょう。(ノートやルーズリーフなどの用紙に記入。)

*また、《Nessun dorma 誰も寝てはならぬ》はどんな場面で歌われているのかに注目しながらまとめましょう。

2. 下の楽譜は G.プッチーニ作曲の《Nessun dorma 誰も寝てはならぬ》から抜粋したものです。楽譜上に示してある番号に当てはまる語句や音程、音符、休符の名称を入れましょう。

★音程の復習

教科書 63 ページを参考に思い出してみよう!



◆完全系の度数

1・4・5・8度は完全系の度数であり、「完全」を標準の状態として、それよりも音程が半音広いときに「増」、狭いときに「減」になる。

◆長短系の度数

2・3・6・7度は長短系の度数であり、「長」または「短」を標準の状態とし、「長」よりも音程が広い場合に「増」、「短」よりも半音狭い場合に「減」を用いる。

例題) 下の楽譜から引用

この2音間の音程は短2度である。

解説：まず、左のト音記号の横についている調号を確認する。ド、ファに#がつくので、例)の2音間は

2度の関係にあり、#がついていることによって、半音上がっているので2度間の幅が狭くなる。したがって、短2度になる。

①名称
②音程
③音程
④音程
⑤音程
⑥音程
⑦名称・意味
⑧名称・意味
⑨音程
⑩音程

例)

ラ -
エ デイル ミオ パー チョ ショツ リエラ イル スイ レーン ツィオ ケ ティ ファ
ミー ア
イル ノー メ スオ ネットン サ ブラ - エ ノイ ドヴレム アイ メ モ
リール モ リール ディ レ グワ オ ノーッ テ
トラ モン ター テ ステーツ
ステーツ レ アツ ラル ク ヴィーン チェ ロ
ヴィーン チェ ロ
ヴィーン チェ ロ

con anima *poco rit.* *poco rit.*

cresc.

(原調はト長調)

※1. 2. のワークシートがプリントアウトできない場合は家にあるノートやルーズリーフなどの適切な用紙にワークシートの項目を写してから書いてください。

3年()組 氏名 _____

1.

演奏者①：	演奏者②：
<感想>	<感想>
私がおすすめしたい演奏者 _____	

2.

①名称	②音程	③音程	④音程
⑤音程	⑥音程	⑦名称 意味	⑧名称 意味
⑨音程	⑩音程		